

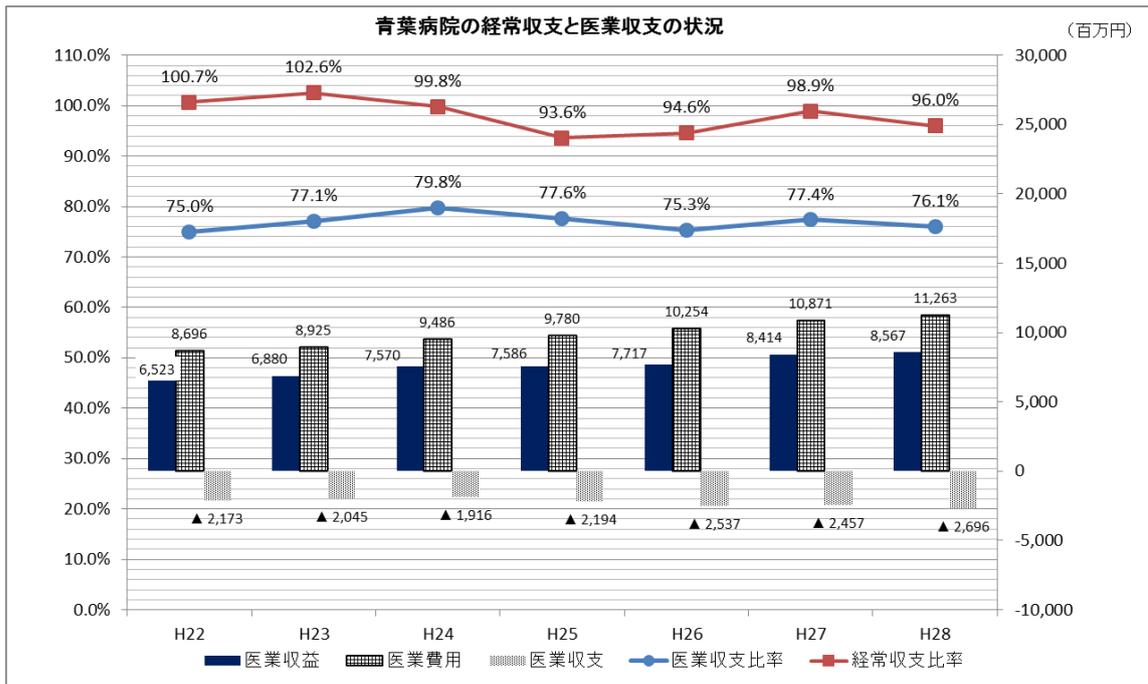
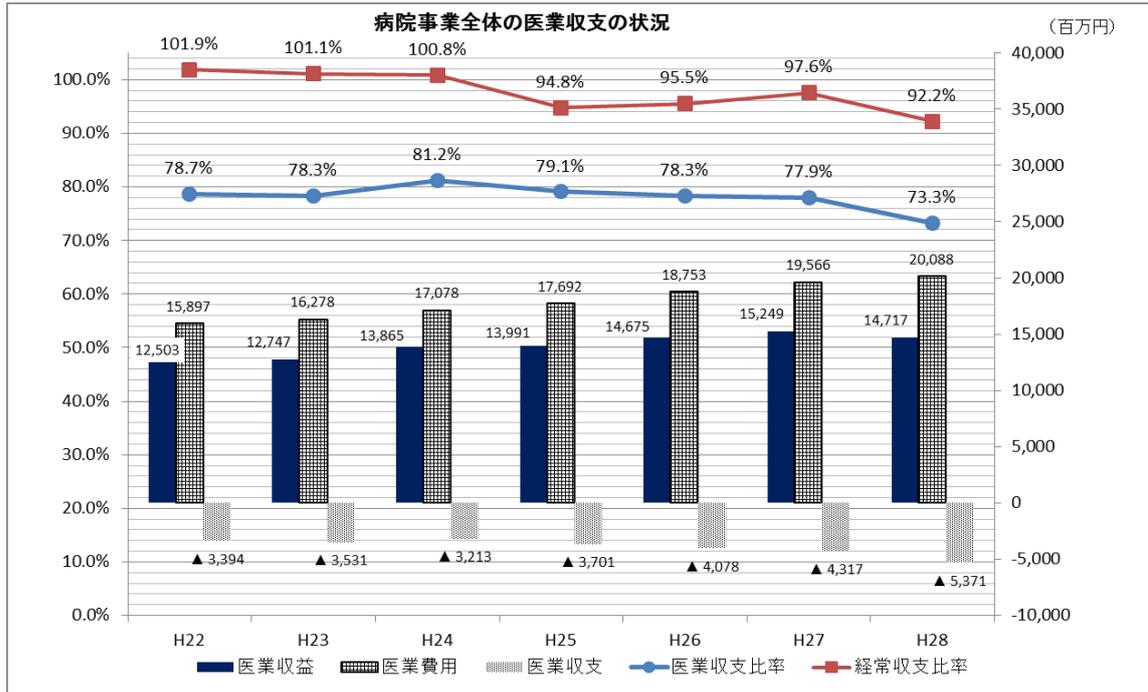
第3章 現状と課題

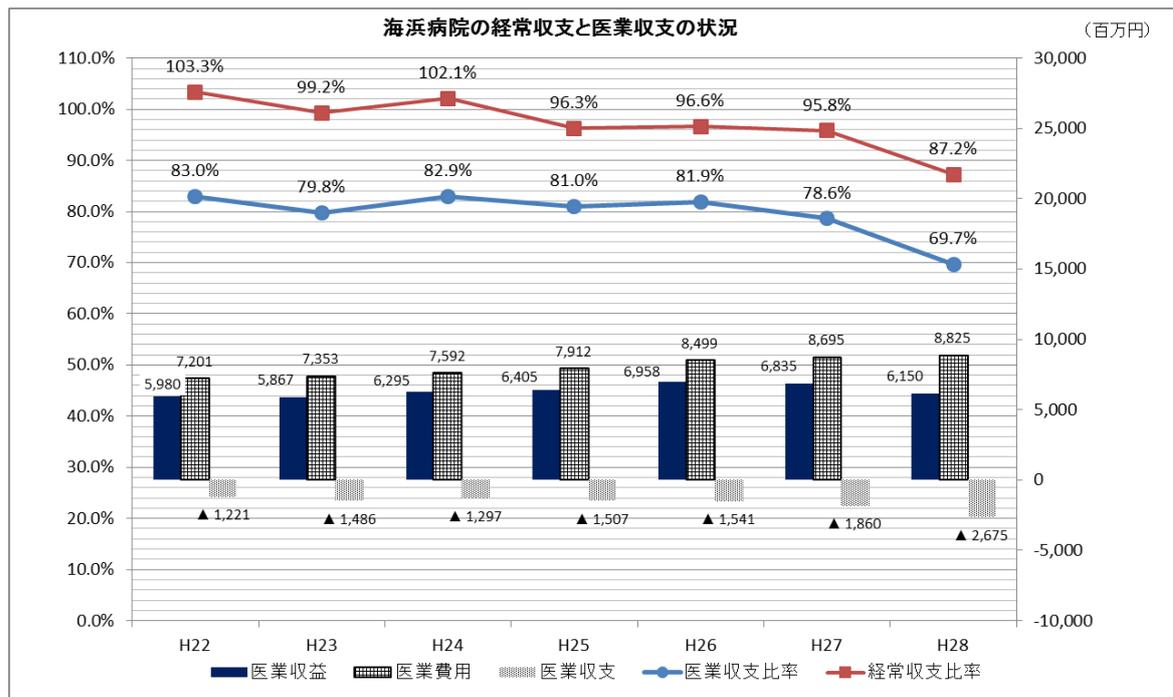
1 本市の現状

(1) 経営状況

ア 経常収支及び医業収支の推移

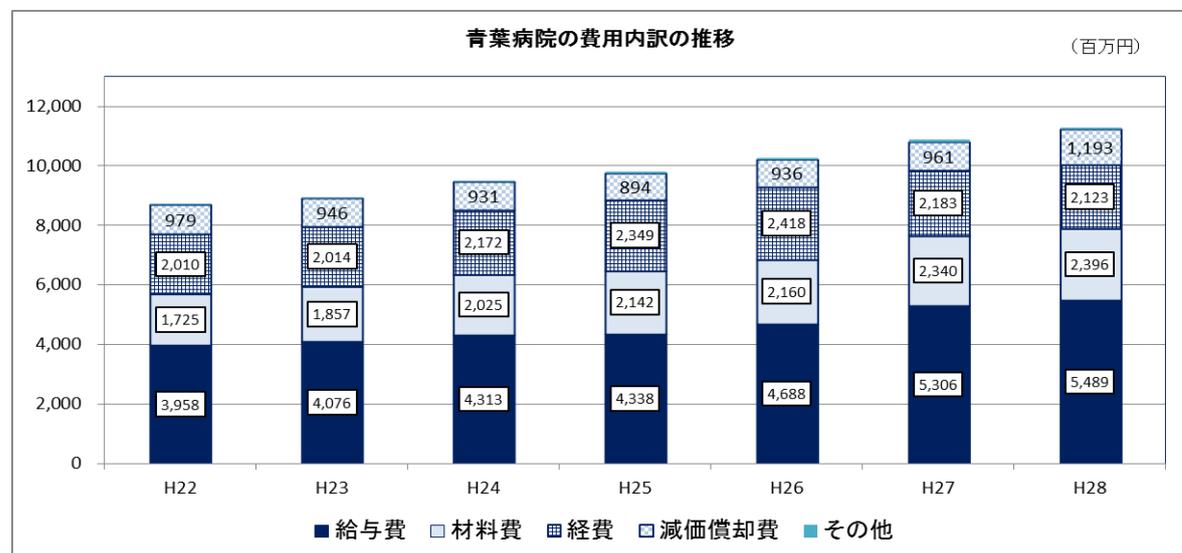
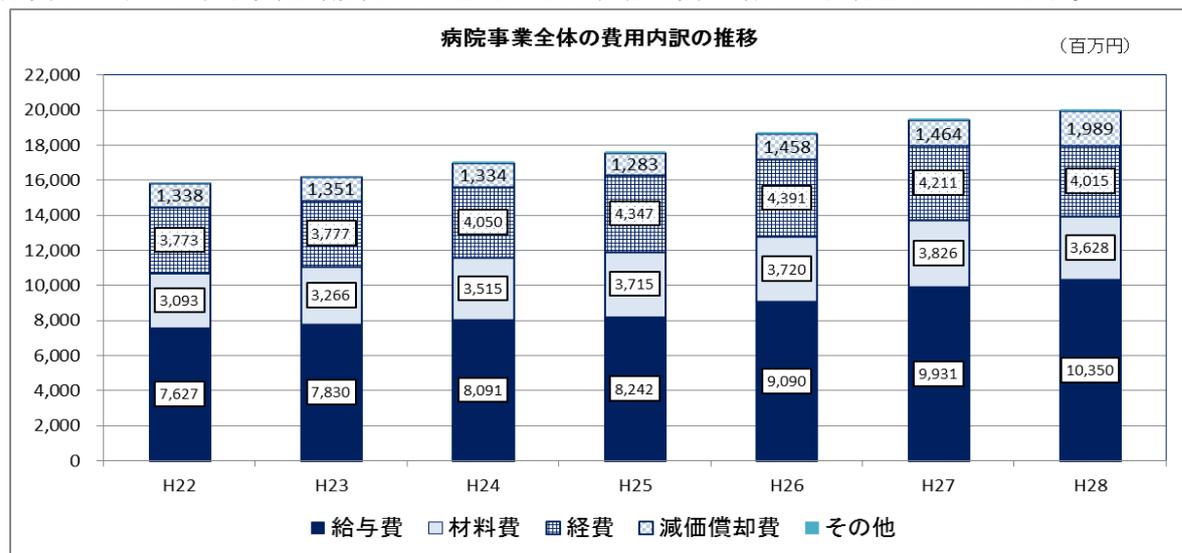
病院事業全体をみると、平成24年度までは経常収支の黒字化を達成していましたが、平成25年度以降医業収支が悪化し続け、平成28年度は、医業収支ベースで過去最大の赤字となりました。この要因としては、平成22年度以降医業費用が増加し続けていることや、平成27年度・28年度の海浜病院の大幅な減収等が挙げられます。

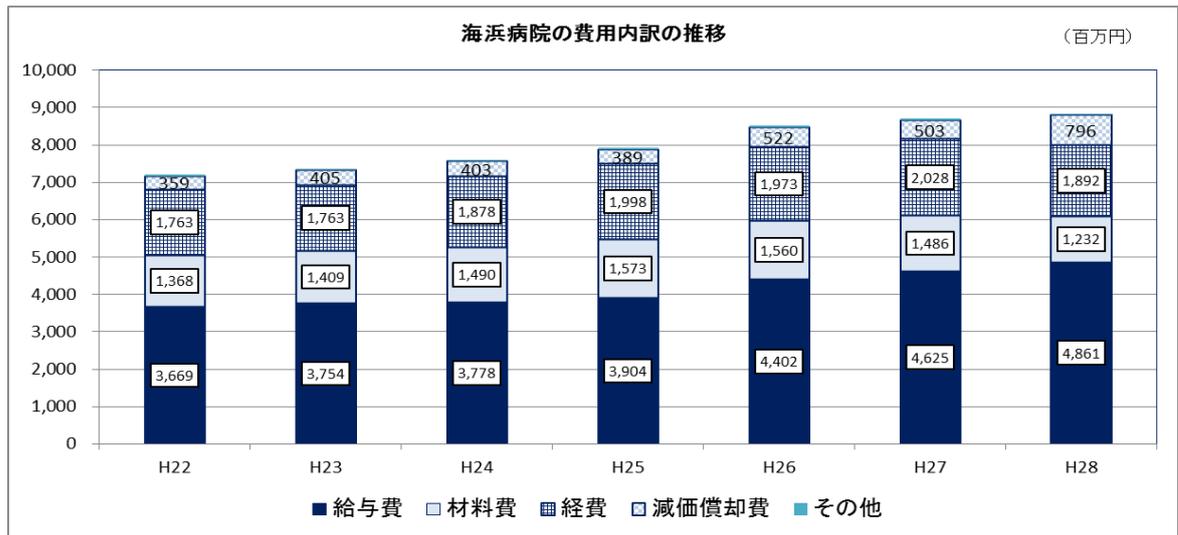




イ 費用の内訳の推移

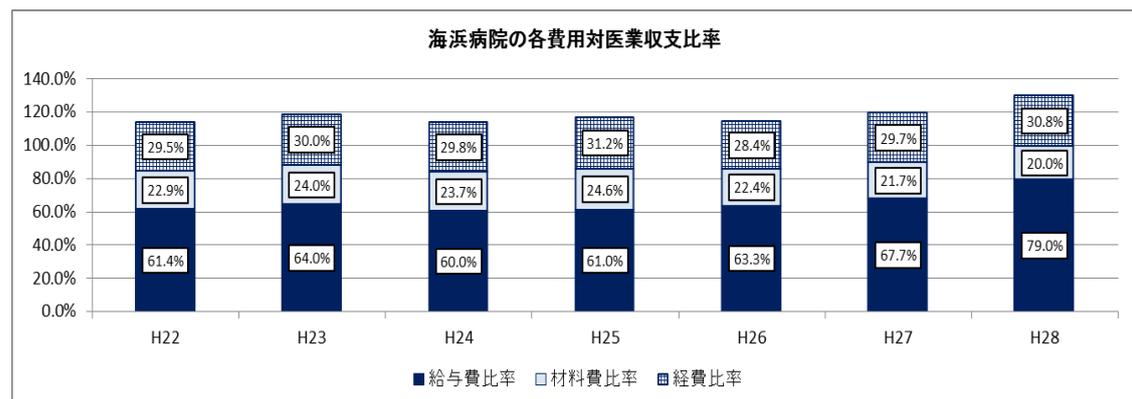
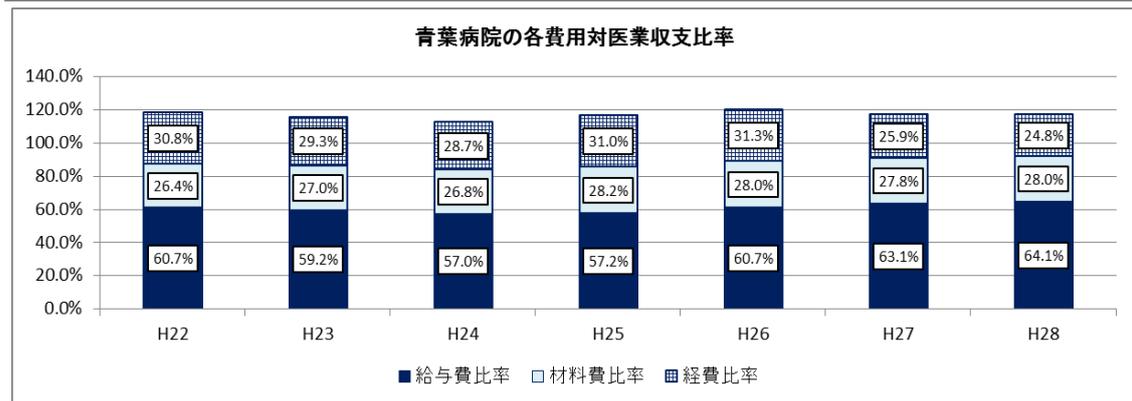
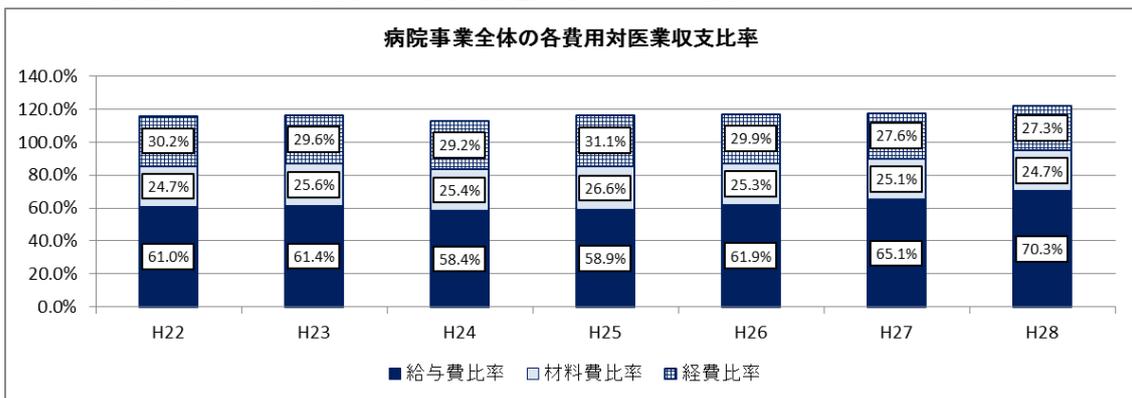
医業費用の中では、職員を増員したこと等により、給与費の増加が顕著となっています。





ウ 医業収益に占める各医業費用の割合

病院事業全体をみると、平成25年度から医業収益に占める給与費の割合が年々増加し続け、平成28年度をみると、医業収益に占める給与費（給与費比率）が70%を超えているほか、経費比率も減少はしているものの27.3%に達しており、固定費である給与費及び経費だけで医業収益の100%弱を占めており、苦しい収支構造となっています。



エ 常勤職員数の推移

病院事業全体の職員数の推移

(人)

病院事業全体	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
事業管理者	0	1	1	1	1	1	1
医師	104	108	131	133	136	139	142
放射線部門	19	20	22	25	32	33	33
臨床検査部門	30	30	31	33	35	40	45
臨床工学部門	3	2	2	6	7	10	10
薬剤部門	18	18	18	23	28	35	38
リハビリ部門	9	10	15	23	28	32	33
栄養部門	6	6	7	8	11	12	11
看護職員	533	541	549	572	604	639	681
その他	4	2	3	3	3	3	4
事務合計	53	61	63	67	68	82	94
事務	53	61	63	67	68	63	66
介護福祉	0	0	0	0	0	5	12
社会福祉	0	0	0	0	0	5	6
精神保健福祉	0	0	0	0	0	2	2
診療情報管理士	0	0	0	0	0	7	8
合計	779	799	842	894	953	1,026	1,092

青葉病院の職員数の推移

(人)

青葉病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
事業管理者	—	—	—	—	—	—	—
医師	53	56	75	73	72	74	76
放射線部門	10	10	12	12	16	18	18
臨床検査部門	13	13	14	15	17	20	23
臨床工学部門	0	0	0	2	2	5	6
薬剤部門	9	9	9	11	14	18	21
リハビリ部門	6	6	9	16	16	19	22
栄養部門	3	3	3	4	5	6	6
看護職員	270	271	274	273	295	326	346
その他	4	2	3	3	3	3	4
事務合計	26	19	20	21	21	32	37
事務	26	19	20	21	21	19	18
介護福祉	0	0	0	0	0	5	9
社会福祉	0	0	0	0	0	2	3
精神保健福祉	0	0	0	0	0	2	2
診療情報管理士	0	0	0	0	0	4	5
合計	394	389	419	430	461	521	559

海浜病院の職員数の推移

(人)

海浜病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
事業管理者	—	—	—	—	—	—	—
医師	51	52	56	60	64	65	66
放射線部門	9	10	10	13	16	15	15
臨床検査部門	17	17	17	18	18	20	22
臨床工学部門	3	2	2	4	5	5	4
薬剤部門	9	9	9	12	14	17	17
リハビリ部門	3	4	6	7	12	13	11
栄養部門	3	3	4	4	6	6	5
看護職員	263	270	275	299	309	313	335
その他	0	0	0	0	0	0	0
事務合計	27	21	21	21	21	27	32
事務	27	21	21	21	21	21	23
介護福祉	0	0	0	0	0	0	3
社会福祉	0	0	0	0	0	3	3
精神保健福祉	0	0	0	0	0	0	0
診療情報管理士	0	0	0	0	0	3	3
合計	385	388	400	438	465	481	507

※ 各年度の決算書より抜粋（年度末の職員数。育休者や退職者を含む。）

オ 収益に関連した主な指標の推移

病院事業全体をみると、病床利用率は過去7年にわたり、ほぼ70%代前半を推移しています。直近5年をみると、平成25年に落ち込み、平成27年度に過去最高となるも、平成28年度に再び落ち込んでいます。平成27年度が高い要因は、青葉病院において看護職員不足により平成24年12月より休止していた一部病床を平成27年7月に全面的に再開したこと等が挙げられ、平成28年度の落ち込みは、海浜病院において、平成27年度に心臓血管外科の新規患者の受入停止をしたこと等が挙げられます。一方、入院診療単価をみると、平成22年度は5万円台であったのが、平成28年度は6万円台となっており、上昇しています。

病院事業全体の収益関連指標の推移

※病床利用率は退院患者を含む(以下同じ)。

病院全体		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
入院	病床利用率	70.4%	71.3%	71.4%	68.1%	70.0%	73.5%	70.6%
	平均在院日数	12.2日	11.9日	11.5日	10.6日	10.6日	11.1日	10.8日
	入院診療単価	50,972円	51,548円	57,464円	60,048円	63,361円	61,122円	60,845円
	入院延患者数	174,959人	177,808人	177,453人	169,383人	170,331人	179,331人	171,857人
	1日平均入院患者数	480人	486人	486人	464人	467人	490人	471人
	新規入院患者数	13,253人	13,799人	14,188人	14,613人	14,683人	14,899人	14,622人
	病院全体	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
外来	外来診療単価	9,186円	9,292円	9,384円	9,840円	10,279円	11,151円	11,445円
	外来延患者数	355,666人	351,142人	355,710人	355,773人	345,272人	352,301人	342,700人
	1日平均外来患者数	1,417人	1,395人	1,411人	1,418人	1,377人	1,412人	1,373人
その他	病院全体	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	紹介患者数	13,224人	12,265人	14,330人	16,012人	17,223人	17,873人	16,874人
	救急搬送件数	5,286件	5,486件	5,962件	6,265件	5,545件	6,015件	6,865件

青葉病院の収益関連指標の推移

青葉病院		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
入院	病床利用率(全体)	70.9%	73.3%	73.8%	68.7%	67.7%	76.3%	76.6%
	病床利用率(一般)	74.4%	76.1%	76.7%	71.1%	69.5%	79.1%	80.8%
	病床利用率(精神)	59.0%	65.0%	65.3%	62.7%	64.7%	68.9%	62.2%
	病床利用率(感染)	9.5%	10.0%	7.7%	2.4%	4.3%	5.9%	1.8%
	平均在院日数(全体)	12.5日	12.0日	11.9日	11.1日	12.0日	13.3日	13.2日
	平均在院日数(一般)	11.0日	10.4日	10.3日	9.6日	10.3日	11.6日	11.7日
	平均在院日数(精神)	81.1日	78.5日	79.3日	74.3日	85.4日	76.0日	78.6日
	平均在院日数(感染)	26.8日	18.9日	32.6日	4.8日	18.0日	10.8日	7.8日
	入院診療単価(全体)	46,684円	47,714円	53,517円	56,891円	59,424円	57,217円	57,892円
	入院診療単価(一般)	51,364円	52,811円	58,763円	63,018円	65,878円	63,057円	62,861円
	入院延患者数(全体)	98,407人	101,900人	102,332人	95,238人	93,962人	106,141人	106,222人
	入院延患者数(一般)	85,267人	87,406人	87,874人	81,460人	79,689人	90,879人	92,563人
	入院延患者数(精神)	12,931人	14,275人	14,290人	13,726人	14,178人	15,132人	13,619人
	入院延患者数(感染)	209人	219人	168人	52人	95人	130人	40人
	1日平均患者数(全体)	270人	279人	280人	261人	257人	290人	291人
	1日平均患者数(一般)	234人	239人	240人	223人	218人	248人	253人
	1日平均患者数(精神)	35人	39人	39人	38人	39人	41人	37人
	1日平均患者数(感染)	1人	1人	1人	0人	0人	1人	1人
	新規入院患者数(全体)	7,277人	7,862人	8,013人	7,917人	7,268人	7,472人	7,503人
	外来	青葉病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27
外来診療単価		8,652円	8,646円	8,751円	9,192円	9,759円	10,442円	10,815円
外来延患者数		203,322人	210,410人	217,155人	216,291人	199,474人	204,150人	204,946人
1日平均外来患者数		836人	862人	886人	886人	818人	840人	843人
日数		243日	244日	245日	244日	244日	243日	243日
その他	青葉病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	紹介患者数	6,702人	7,267人	9,151人	9,961人	10,496人	10,797人	9,448人
	救急搬送件数	3,014件	3,410件	4,234件	4,301件	3,476件	3,756件	4,277件

海浜病院の収益関連指標の推移

	病院全体	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	入院	病床利用率	69.7%	68.9%	68.4%	67.5%	72.9%	69.7%
	平均在院日数	11.8日	11.8日	11.2日	10.1日	9.3日	8.8日	8.2日
	入院診療単価	56,485円	56,694円	62,840円	64,104円	68,206円	66,786円	65,641円
	入院延患者数	76,552人	75,908人	75,121人	74,145人	76,369人	73,190人	65,635人
	1日平均入院患者数	210人	207人	206人	203人	210人	200人	180人
	新規入院患者数	5,976人	5,937人	6,175人	6,696人	7,415人	7,427人	7,119人
外来	病院全体	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	外来診療単価	9,899円	10,258円	10,377円	10,844円	10,990円	12,127円	12,374円
	外来延患者数	152,344人	140,732人	138,555人	139,482人	145,798人	148,151人	137,754人
	1日平均外来患者数	581人	533人	525人	532人	559人	572人	530人
その他	病院全体	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	紹介患者数	6,522人	4,998人	5,179人	6,051人	6,727人	7,076人	7,426人
	救急搬送件数※夜救診除く	2,272件	2,076件	1,728件	1,964件	2,069件	2,259件	2,588件

カ 診療科別延患者数及び1日平均患者数の推移

病院事業全体をみると、入院延患者数の増減は以下のとおりです。

- 増加した主な診療科：皮膚科（34.4%）、内科（27.2%）、泌尿器科（24.6%）等
- 減少した主な診療科：心臓血管外科（▲99.9%）、眼科（▲52.1%）、整形外科（▲31.6%）等

病院事業全体の入院延患者数及び1日平均入院患者数

	病院全体	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H22-H28増減
		延患者数	増減率						
入院	内科	57,197人	58,462人	62,201人	63,709人	65,612人	71,991人	72,751人	27.2%
	外科	21,030人	22,011人	23,194人	22,371人	22,049人	22,159人	20,168人	▲4.1%
	心臓血管外科	3,796人	5,409人	5,679人	5,178人	4,681人	1,419人	4人	▲99.9%
	整形外科	23,387人	25,902人	17,264人	14,279人	12,728人	15,082人	15,987人	▲31.6%
	小児科	13,559人	13,782人	13,506人	12,028人	12,133人	11,506人	11,111人	▲18.1%
	新生児科	11,232人	10,123人	11,006人	10,052人	9,995人	10,144人	9,358人	▲16.7%
	産婦人科	19,017人	16,680人	18,209人	17,829人	19,281人	20,565人	15,409人	▲19.0%
	眼科	2,539人	2,372人	2,559人	2,230人	1,631人	1,539人	1,216人	▲52.1%
	耳鼻咽喉科	4,215人	3,153人	3,768人	3,314人	3,192人	3,090人	4,798人	13.8%
	皮膚科	1,120人	776人	894人	363人	691人	1,364人	1,505人	34.4%
	泌尿器科	4,727人	4,644人	4,715人	4,252人	4,065人	5,210人	5,891人	24.6%
	小計	161,819人	163,314人	162,995人	155,605人	156,058人	164,069人	158,198人	▲2.2%
	精神科	12,931人	14,275人	14,290人	13,726人	14,178人	15,132人	13,619人	5.3%
	感染	209人	219人	168人	52人	95人	130人	40人	▲80.9%
	計	174,959人	177,808人	177,453人	169,383人	170,331人	179,331人	171,857人	▲1.8%

	病院全体	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H22-H28増減
		1日平均	増減率						
入院	内科	157人	160人	170人	174人	180人	196人	199人	26.8%
	外科	58人	60人	63人	61人	60人	61人	56人	▲3.4%
	心臓血管外科	10人	15人	16人	14人	13人	4人	0人	▲100.0%
	整形外科	64人	71人	48人	39人	35人	41人	44人	▲31.2%
	小児科	37人	37人	37人	33人	33人	31人	30人	▲18.9%
	新生児科	31人	28人	30人	28人	27人	28人	26人	▲16.1%
	産婦人科	52人	45人	50人	49人	53人	57人	42人	▲19.2%
	眼科	7人	7人	7人	6人	5人	4人	3人	▲57.1%
	耳鼻咽喉科	12人	8人	10人	9人	9人	8人	13人	8.3%
	皮膚科	3人	2人	2人	1人	2人	4人	4人	33.3%
	泌尿器科	13人	13人	13人	12人	11人	14人	16人	23.1%
	小計	444人	446人	446人	426人	428人	448人	433人	▲2.5%
	精神科	35人	39人	39人	38人	39人	41人	37人	5.7%
	感染	1人	1人	1人	0人	0人	1人	1人	0.0%
	計	480人	486人	486人	464人	467人	490人	471人	▲1.9%

外来延患者数の増減は以下のとおりです。

- ・増加した主な診療科：リハビリテーション科（222.7%）、放射線治療科（20.9%、平成26年度から）、歯科（17.0%）等
- ・減少した主な診療科：心臓血管外科（▲95.1%）、眼科（▲33.7%）、耳鼻咽喉科（▲28.3%）等

病院事業全体の外来延患者数及び1日平均外来患者数

	病院全体	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H22-H28増減
		延患者数	増減率						
一般 外来	内科	87,786人	84,595人	86,342人	89,927人	88,658人	89,998人	90,432人	3.0%
	外科	26,874人	27,175人	25,417人	24,466人	24,949人	25,784人	24,828人	▲7.6%
	心臓血管外科	2,820人	3,046人	3,180人	3,220人	3,320人	2,860人	137人	▲95.1%
	整形外科	41,969人	44,910人	44,206人	43,298人	39,849人	38,816人	37,256人	▲11.2%
	小児科	30,095人	28,899人	27,530人	25,993人	24,338人	24,222人	23,241人	▲22.8%
	産婦人科	31,629人	30,436人	33,475人	34,974人	36,282人	36,872人	30,661人	▲3.1%
	眼科	23,997人	23,433人	24,243人	22,097人	15,303人	16,089人	15,901人	▲33.7%
	耳鼻咽喉科	19,637人	17,104人	18,418人	15,262人	13,674人	13,433人	14,070人	▲28.3%
	皮膚科	10,639人	9,934人	10,045人	10,627人	10,104人	10,585人	9,810人	▲7.8%
	泌尿器科	14,999人	15,940人	15,982人	16,010人	15,092人	15,809人	16,674人	11.2%
	放射線治療科	—	—	—	—	1,819人	2,879人	2,200人	20.9%
	リハビリテーション科	9,332人	11,714人	14,893人	19,251人	22,320人	26,905人	30,119人	222.7%
	歯科	2,379人	2,409人	2,517人	2,729人	2,640人	2,925人	2,783人	17.0%
	精神科	19,680人	19,395人	18,958人	18,810人	18,765人	17,607人	17,635人	▲10.4%
	小計	321,836人	318,990人	325,206人	326,664人	317,113人	324,784人	315,747人	▲1.9%
夜急診 外来	内科	16,089人	15,616人	15,652人	14,249人	14,283人	13,204人	13,256人	▲17.6%
	小児科	17,741人	16,536人	14,852人	14,860人	13,876人	14,313人	13,697人	▲22.8%
	小計	33,830人	32,152人	30,504人	29,109人	28,159人	27,517人	26,953人	▲20.3%
計	355,666人	351,142人	355,710人	355,773人	345,272人	352,301人	342,700人	▲3.6%	

	病院全体	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H22-H28増減
		1日平均	増減率						
一般 外来	内科	361人	347人	353人	369人	363人	370人	372人	3.0%
	外科	111人	111人	104人	100人	102人	106人	102人	▲8.1%
	心臓血管外科	12人	12人	13人	13人	14人	12人	1人	▲91.7%
	整形外科	173人	184人	180人	177人	163人	160人	153人	▲11.6%
	小児科	123人	118人	112人	106人	100人	100人	96人	▲22.0%
	産婦人科	130人	125人	137人	143人	149人	152人	126人	▲3.1%
	眼科	99人	96人	99人	90人	63人	66人	65人	▲34.3%
	耳鼻咽喉科	81人	70人	75人	63人	56人	55人	58人	▲28.4%
	皮膚科	44人	41人	41人	44人	41人	44人	40人	▲9.1%
	泌尿器科	62人	65人	65人	66人	62人	65人	69人	11.3%
	放射線治療科	—	—	—	—	7人	12人	9人	28.6%
	リハビリテーション科	38人	48人	61人	79人	91人	111人	124人	226.3%
	歯科	10人	10人	10人	11人	11人	12人	11人	10.0%
	精神科	81人	79人	77人	77人	77人	72人	73人	▲9.9%
	小計	1,325人	1,307人	1,327人	1,338人	1,300人	1,337人	1,299人	▲2.0%
夜急診 外来	内科	44人	43人	43人	39人	39人	36人	36人	▲18.2%
	小児科	48人	45人	41人	41人	38人	39人	38人	▲20.8%
	小計	92人	88人	84人	80人	77人	75人	74人	▲19.6%
計	1,417人	1,395人	1,411人	1,418人	1,377人	1,412人	1,373人	▲3.1%	

青葉病院をみると、入院延患者数の増減は以下のとおりです。

- ・増加した主な診療科：皮膚科（34.4%）、内科（30.9%）、泌尿器科（24.6%）等
- ・減少した主な診療科：眼科（▲99.6%）、小児科（▲92.9%）、産婦人科（▲46.1%）等

青葉病院の入院延患者数及び1日平均入院患者数

入院	青葉病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H22-H28増減
		延患者数	延患者数	延患者数	延患者数	延患者数	延患者数	延患者数	増減率
	内科	42,425人	44,298人	46,417人	45,407人	46,625人	53,679人	55,543人	30.9%
	外科	9,304人	9,549人	7,689人	7,649人	7,424人	7,713人	7,148人	▲23.2%
	整形外科	13,493人	15,266人	17,062人	14,118人	12,595人	15,029人	15,971人	18.4%
	小児科	2,202人	3,014人	1,785人	1,252人	904人	260人	157人	▲92.9%
	産婦人科	9,604人	8,703人	8,281人	7,392人	7,385人	7,624人	5,178人	▲46.1%
	眼科	1,171人	1,071人	1,031人	1,027人	0人	0人	5人	▲99.6%
	耳鼻咽喉科	1,221人	85人	0人	0人	0人	0人	1,165人	▲4.6%
	皮膚科	1,120人	776人	894人	363人	691人	1,364人	1,505人	34.4%
	泌尿器科	4,727人	4,644人	4,715人	4,252人	4,065人	5,210人	5,891人	24.6%
	小計	85,267人	87,406人	87,874人	81,460人	79,689人	90,879人	92,563人	8.6%
	精神科	12,931人	14,275人	14,290人	13,726人	14,178人	15,132人	13,619人	5.3%
	感染	209人	219人	168人	52人	95人	130人	40人	▲80.9%
	計	98,407人	101,900人	102,332人	95,238人	93,962人	106,141人	106,222人	7.9%

入院	青葉病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H22-H28増減
		1日平均	増減率						
	内科	116人	121人	127人	124人	128人	146人	152人	31.0%
	外科	26人	26人	21人	21人	20人	21人	20人	▲23.1%
	整形外科	37人	42人	47人	39人	35人	41人	44人	18.9%
	小児科	6人	8人	5人	3人	2人	1人	0人	▲100.0%
	産婦人科	26人	24人	22人	20人	20人	21人	14人	▲46.2%
	眼科	3人	3人	3人	3人	0人	0人	0人	▲100.0%
	耳鼻咽喉科	4人	0人	0人	0人	0人	0人	3人	▲25.0%
	皮膚科	3人	2人	2人	1人	2人	4人	4人	33.3%
	泌尿器科	13人	13人	13人	12人	11人	14人	16人	23.1%
	小計	234人	239人	240人	223人	218人	248人	253人	8.1%
	精神科	35人	39人	39人	38人	39人	41人	37人	5.7%
	感染	1人	1人	1人	0人	0人	1人	1人	0.0%
	計	270人	279人	280人	261人	257人	290人	291人	7.8%

外来延患者数の増減は以下のとおりです。

- ・増加した主な診療科：リハビリテーション科（222.7%）、整形外科（22.5%）、歯科（17.0%）等
- ・減少した主な診療科：小児科（▲80.4%）、眼科（▲72.4%）、耳鼻咽喉科（▲46.8%）等

青葉病院の外来延患者数及び1日平均外来患者数

一般 外来	青葉病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H22-H28増減
		延患者数	増減率						
	内科	59,891人	61,401人	63,321人	63,462人	59,722人	60,803人	61,676人	3.0%
	外科	12,790人	12,542人	9,039人	8,142人	8,059人	8,401人	8,314人	▲35.0%
	整形外科	26,415人	30,297人	34,879人	35,999人	33,892人	33,296人	32,362人	22.5%
	小児科	9,114人	9,169人	8,135人	5,708人	4,313人	3,140人	1,785人	▲80.4%
	産婦人科	17,836人	18,972人	19,906人	20,658人	20,474人	20,782人	16,618人	▲6.8%
	眼科	14,039人	13,229人	13,359人	11,586人	2,504人	2,274人	3,869人	▲72.4%
	耳鼻咽喉科	6,208人	5,408人	6,121人	3,309人	1,589人	1,623人	3,301人	▲46.8%
	皮膚科	10,639人	9,934人	10,045人	10,627人	10,104人	10,585人	9,810人	▲7.8%
	泌尿器科	14,999人	15,940人	15,982人	16,010人	15,092人	15,809人	16,674人	11.2%
	リハビリテーション科	9,332人	11,714人	14,893人	19,251人	22,320人	26,905人	30,119人	222.7%
	歯科	2,379人	2,409人	2,517人	2,729人	2,640人	2,925人	2,783人	17.0%
	精神科	19,680人	19,395人	18,958人	18,810人	18,765人	17,607人	17,635人	▲10.4%
	計	203,322人	210,410人	217,155人	216,291人	199,474人	204,150人	204,946人	0.8%

	青葉病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H22-H28増減
		1日平均	増減率						
一般 外来	内科	246人	252人	259人	260人	245人	250人	254人	3.3%
	外科	53人	51人	37人	33人	33人	35人	34人	▲35.8%
	整形外科	109人	124人	142人	147人	139人	137人	133人	22.0%
	小児科	37人	38人	33人	23人	18人	13人	7人	▲81.1%
	産婦人科	73人	78人	81人	85人	84人	86人	68人	▲6.8%
	眼科	58人	54人	55人	47人	10人	9人	16人	▲72.4%
	耳鼻咽喉科	26人	22人	25人	14人	6人	7人	14人	▲46.2%
	皮膚科	44人	41人	41人	44人	41人	44人	40人	▲9.1%
	泌尿器科	62人	65人	65人	66人	62人	65人	69人	11.3%
	リハビリテーション科	38人	48人	61人	79人	92人	111人	124人	226.3%
	歯科	10人	10人	10人	11人	11人	12人	11人	10.0%
	精神科	81人	79人	77人	77人	77人	72人	73人	▲9.9%
計	837人	862人	886人	886人	818人	840人	843人	0.7%	

海浜病院をみると、入院延患者数の増減は以下のとおりです。

- ・増加した主な診療科：産科（30.2%、平成23年度から）、耳鼻咽喉科（21.3%）、内科（16.5%）等
- ・減少した主な診療科：心臓血管外科（▲99.9%）、整形外科（▲99.8%）、新生児科（▲16.7%）等

海浜病院の入院延患者数及び1日平均入院患者数

	海浜病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H22-H28増減
		延患者数	増減率						
入院	内科	14,772人	14,164人	15,784人	18,302人	18,987人	18,312人	17,208人	16.5%
	外科	11,726人	12,462人	15,505人	14,722人	14,625人	14,446人	13,020人	11.0%
	心臓血管外科	3,796人	5,409人	5,679人	5,178人	4,681人	1,419人	4人	▲99.9%
	整形外科	9,894人	10,636人	202人	161人	133人	53人	16人	▲99.8%
	小児科	11,357人	10,768人	11,721人	10,776人	11,229人	11,246人	10,954人	▲3.5%
	新生児科	11,232人	10,123人	11,006人	10,052人	9,995人	10,144人	9,358人	▲16.7%
	産婦人科	9,413人	—	—	—	—	—	—	—
	産科	—	7,445人	9,355人	9,882人	11,242人	12,288人	9,692人	30.2%
	婦人科	—	532人	573人	555人	654人	653人	539人	1.3%
	眼科	1,368人	1,301人	1,528人	1,203人	1,631人	1,539人	1,211人	▲11.5%
	耳鼻咽喉科	2,994人	3,068人	3,768人	3,314人	3,192人	3,090人	3,633人	21.3%
	計	76,552人	75,908人	75,121人	74,145人	76,369人	73,190人	65,635人	▲14.3%

	海浜病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H22-H28増減
		1日平均	増減率						
入院	内科	41人	39人	43人	50人	52人	50人	47人	14.6%
	外科	32人	34人	42人	40人	40人	40人	36人	12.5%
	心臓血管外科	10人	15人	16人	14人	13人	4人	0人	▲100.0%
	整形外科	27人	29人	1人	0人	0人	0人	0人	▲100.0%
	小児科	31人	29人	32人	30人	31人	30人	30人	▲3.2%
	新生児科	31人	28人	30人	28人	27人	28人	26人	▲16.1%
	産婦人科	26人	—	—	—	—	—	—	—
	産科	—	20人	26人	27人	31人	34人	27人	35.0%
	婦人科	—	1人	2人	2人	2人	2人	1人	0.0%
	眼科	4人	4人	4人	3人	5人	4人	3人	▲25.0%
	耳鼻咽喉科	8人	8人	10人	9人	9人	8人	10人	25.0%
	計	210人	207人	206人	203人	210人	200人	180人	▲14.3%

外来延患者数の増減は以下のとおりです。

- ・増加した主な診療科：産科（36.8%、平成23年度から）、放射線治療科（20.9%、平成26年度から）、眼科（20.8%）等
- ・減少した主な診療科：心臓血管外科（▲95.1%）、整形外科（▲68.5%）、耳鼻咽喉科（▲19.8%）等

海浜病院の外来延患者数及び1日平均外来患者数

	海浜病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H22-H28増減
		延患者数	増減率						
一般 外来	内科	27,895人	23,194人	23,021人	26,465人	28,936人	29,195人	28,756人	3.1%
	外科	14,084人	14,633人	16,378人	16,324人	16,890人	17,383人	16,514人	17.3%
	心臓血管外科	2,820人	3,046人	3,180人	3,220人	3,320人	2,860人	137人	▲95.1%
	整形外科	15,554人	14,613人	9,327人	7,299人	5,957人	5,520人	4,894人	▲68.5%
	小児科	20,981人	19,730人	19,395人	20,285人	20,025人	21,082人	21,456人	2.3%
	産婦人科	13,793人	—	—	—	—	—	—	—
	産科	—	7,758人	9,536人	10,345人	11,868人	12,391人	10,612人	36.8%
	婦人科	—	3,706人	4,033人	3,971人	3,940人	3,699人	3,431人	▲7.4%
	眼科	9,958人	10,204人	10,884人	10,511人	12,799人	13,815人	12,032人	20.8%
	耳鼻咽喉科	13,429人	11,696人	12,297人	11,953人	12,085人	11,810人	10,769人	▲19.8%
	放射線治療科	—	—	—	—	1,819人	2,879人	2,200人	20.9%
	小計	118,514人	108,580人	108,051人	110,373人	117,639人	120,634人	110,801人	▲6.5%
夜急診 外来	内科	16,089人	15,616人	15,652人	14,249人	14,283人	13,204人	13,256人	▲17.6%
	小児科	17,741人	16,536人	14,852人	14,860人	13,876人	14,313人	13,697人	▲22.8%
	小計	33,830人	32,152人	30,504人	29,109人	28,159人	27,517人	26,953人	▲20.3%
計	152,344人	140,732人	138,555人	139,482人	145,798人	148,151人	137,754人	▲9.6%	

	海浜病院	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H22-H28増減
		1日平均	増減率						
一般 外来	内科	115人	95人	94人	109人	118人	120人	118人	2.6%
	外科	58人	60人	67人	67人	69人	71人	68人	17.2%
	心臓血管外科	12人	12人	13人	13人	14人	12人	1人	▲91.7%
	整形外科	64人	60人	38人	30人	24人	23人	20人	▲68.7%
	小児科	86人	81人	79人	83人	82人	87人	89人	3.5%
	産婦人科	57人	—	—	—	—	—	—	—
	産科	—	32人	39人	42人	49人	51人	44人	37.5%
	婦人科	—	15人	17人	16人	16人	15人	14人	▲6.7%
	眼科	41人	42人	44人	43人	53人	57人	49人	19.5%
	耳鼻咽喉科	55人	48人	50人	49人	50人	49人	44人	▲20.0%
	放射線治療科	—	—	—	—	7人	12人	9人	28.6%
	小計	488人	445人	441人	452人	482人	497人	456人	▲6.6%
夜急診 外来	内科	44人	43人	43人	39人	39人	36人	36人	▲18.2%
	小児科	48人	45人	41人	41人	38人	39人	38人	▲20.8%
	小計	92人	88人	84人	80人	77人	75人	74人	▲19.6%
計	580人	533人	525人	532人	559人	572人	530人	▲8.6%	

キ 医療機関別係数の推移

両市立病院ともに、医療機関別係数は上昇しています。また、医療機関が担うべき役割や機能を評価する機能評価係数Ⅱは、県内でみると青葉病院は2位、海浜病院は23位となっています。

青葉病院の医療機関別係数の推移（各年度4月現在を基準）

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
医療機関別係数	1.1203	1.1903	1.2240	1.3302	1.3579	1.4066	1.4217
基礎係数(Ⅲ群)	—	1.0418	1.0418	1.0276	1.0276	1.0296	1.0296
暫定調整係数	1.0420	0.0512	0.0512	0.0348	0.0348	0.0230	0.0230
機能評価Ⅰ	0.0519	0.0763	0.1057	0.2033	0.2240	0.2645	0.2842
機能評価Ⅱ	0.0264	0.0210	0.0253	0.0645	0.0715	0.0895	0.0849
データ提出	0.00390	0.00205	0.00204	—	—	—	—
保険診療	—	—	—	0.00731	0.00730	0.00806	0.00806
効率性	0.00570	0.00642	0.00700	0.01376	0.01380	0.01162	0.00887
複雑性	0.00380	0.00311	0.00315	0.00628	0.00715	0.01167	0.01235
カバー率	0.00320	0.00401	0.00403	0.00730	0.00722	0.00753	0.00706
救急医療	0.00640	0.00274	0.00643	0.01528	0.02036	0.01916	0.01926
地域医療	0.00340	0.00272	0.00266	0.00487	0.00592	0.00563	0.00492
後発医薬品	—	—	—	0.00972	0.00973	0.01058	0.00949
重症度	—	—	—	—	—	0.01528	0.01484

海浜病院の医療機関別係数の推移（各年度4月現在を基準）

区分	H26	H27	H28	H29
医療機関別係数	1.3005	1.2995	1.3333	1.3413
基礎係数(Ⅲ群)	1.0276	1.0276	1.0296	1.0296
暫定調整係数	▲ 0.0100	▲ 0.0100	0.0088	0.0088
機能評価Ⅰ	0.2265	0.2248	0.2300	0.2411
機能評価Ⅱ	0.0564	0.0571	0.0649	0.0618
保険診療	0.00731	0.00730	0.00806	0.00806
効率性	0.01563	0.01534	0.01588	0.01518
複雑性	0.00065	0.00111	0.00081	0.00100
カバー率	0.00688	0.00687	0.00643	0.00650
救急医療	0.00794	0.00641	0.00631	0.00679
地域医療	0.00657	0.00809	0.00883	0.00921
後発医薬品	0.01144	0.01196	0.01058	0.00949
重症度	—	—	0.00801	0.00556

平成29年度 千葉県内の医療機関別係数(医療機関群Ⅲ群)

(県内の46医療機関中30位まで表示)

順位	医療機関名	機能評価係数Ⅱ	順位	医療機関名	機能評価係数Ⅱ
1	君津中央病院	0.0927	16	国立がん研究センター東病院	0.0678
2	千葉市立青葉病院	0.0849	17	鎌ヶ谷総合病院	0.0650
3	成田赤十字病院	0.0802	18	東葛病院	0.0649
4	東邦大学医療センター佐倉病院	0.0782	19	おおたかの森病院	0.0636
5	国保松戸市立病院	0.0754	20	千葉脳神経外科病院	0.0622
6	帝京大学ちば総合医療センター	0.0753	21	セコムメディック病院	0.0620
7	東京ベイ・浦安市川医療センター	0.0753	22	医療法人社団協友会柏厚生総合病院	0.0619
8	東京歯科大学市川総合病院	0.0739	23	千葉市立海浜病院	0.0618
9	千葉県済生会習志野病院	0.0731	24	千葉中央メディカルセンター	0.0618
10	新東京病院	0.0719	25	国立病院機構千葉医療センター	0.0603
11	千葉徳洲会病院	0.0695	26	行徳総合病院	0.0601
12	千葉県循環器病センター	0.0691	27	小張総合病院	0.0588
13	新松戸中央総合病院	0.0691	28	キッコーマン総合病院	0.0574
14	船橋市立医療センター	0.0691	29	船橋整形外科病院	0.0570
15	安房地域医療センター	0.0689	30	津田沼中央総合病院	0.0553

※中央社会保険医療協議会（中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織（DPC評価分科会））資料に基づいて作成

ク 当年度純損益、累積欠損金、補てん財源の状況

病院事業全体の医業収支の悪化に伴い、累積欠損金は年々拡大し、平成27年度においては年度末補てん財源（内部留保資金残高）が不足する事態となりました。また、平成28年度の純損益は、約21億円となり、地方公営企業法全部適用移行後、過去最大の赤字となりました。その結果、年度末補てん財源の不足額が大幅に拡大し、財政健全化法の資金不足比率（0.1%）が初めて発生しました。なお、地方公営企業の病院事業585会計のうち、資金不足が発生しているのは千葉市のほか32会計だけです。

(単位：百万円、税込)

項目・主な内訳	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
医業収支	▲3,394	▲3,531	▲3,213	▲3,701	▲4,078	▲4,317	▲5,371
経常収支	310	187	145	▲951	▲865	▲493	▲1,618
純損益(税抜)	296	115	83	▲1,045	▲1,832	▲357	▲2,113
累積欠損金(税抜)	▲1,764	▲1,649	▲1,566	▲2,612	▲4,449	▲4,817	▲6,932
年度末補てん財源 残高 (内部留保資金 残高)	2,808	2,770	2,686	1,619	665	▲177	▲1,912
参考:医業収支比率	78.7%	78.3%	81.2%	79.1%	78.3%	77.9%	73.3%
資金不足比率	—	—	—	—	—	—	0.1%

ケ 参考：収益的収支の状況

病院事業会計全体の収益的収支

(単位：百万円、税込)

年度	プラン（第1期）		プラン（第2期）			プラン（第3期）	
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	実績						
医業収益	12,503	12,747	13,865	13,991	14,675	15,249	14,717
入院収益	8,918	9,166	10,198	10,172	10,793	10,961	10,457
外来収益	3,267	3,263	3,338	3,501	3,549	3,929	3,922
医業費用	15,897	16,278	17,078	17,692	18,753	19,566	20,088
職員給与費	7,627	7,830	8,091	8,242	9,090	9,931	10,350
材料費	3,093	3,266	3,515	3,715	3,720	3,826	3,628
経費	3,773	3,777	4,050	4,347	4,391	4,211	4,015
減価償却費	1,338	1,351	1,334	1,283	1,458	1,464	1,989
医業収支	▲ 3,394	▲ 3,531	▲ 3,213	▲ 3,701	▲ 4,078	▲ 4,317	▲ 5,371
医業外収益	4,368	4,307	3,896	3,306	3,696	4,434	4,376
一般会計繰入金	4,157	4,128	3,683	3,114	3,454	3,426	3,333
医業外費用	664	589	538	556	483	610	623
経常収支	310	187	145	▲ 951	▲ 865	▲ 493	▲ 1,618
特別利益	36	1	33	15	51	850	8
特別損失	49	73	95	109	1,018	714	503
純損益	297	115	83	▲ 1,045	▲ 1,832	▲ 357	▲ 2,113

青葉病院の収益的収支

(単位：百万円、税込)

年度	プラン（第1期）		プラン（第2期）			プラン（第3期）	
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	実績						
医業収益	6,523	6,880	7,570	7,586	7,717	8,414	8,567
入院収益	4,594	4,863	5,477	5,419	5,584	6,073	6,149
外来収益	1,759	1,819	1,900	1,988	1,947	2,132	2,217
医業費用	8,696	8,925	9,486	9,780	10,254	10,871	11,263
職員給与費	3,958	4,076	4,313	4,338	4,688	5,306	5,489
材料費	1,725	1,857	2,025	2,142	2,160	2,340	2,396
経費	2,010	2,014	2,172	2,349	2,418	2,183	2,123
減価償却費	979	946	931	894	936	961	1,193
医業収支	▲ 2,173	▲ 2,045	▲ 1,916	▲ 2,194	▲ 2,537	▲ 2,457	▲ 2,696
医業外収益	2,739	2,793	2,365	1,999	2,394	2,858	2,658
一般会計繰入金	2,661	2,689	2,255	1,902	2,288	2,196	1,966
医業外費用	500	505	465	460	434	526	426
経常収支	66	243	▲ 16	▲ 655	▲ 577	▲ 125	▲ 464
特別利益	35	1	31	6	48	526	7
特別損失	25	42	42	75	498	274	241
純損益	76	202	▲ 27	▲ 724	▲ 1,027	127	▲ 698

海浜病院の収益的収支

(単位：百万円、税込)

年度	プラン（第1期）		プラン（第2期）			プラン（第3期）	
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	実績						
医業収益	5,980	5,867	6,295	6,405	6,958	6,835	6,150
入院収益	4,324	4,303	4,721	4,753	5,209	4,888	4,308
外来収益	1,508	1,444	1,438	1,513	1,602	1,797	1,705
医業費用	7,201	7,353	7,592	7,912	8,499	8,695	8,825
職員給与費	3,669	3,754	3,778	3,904	4,402	4,625	4,861
材料費	1,368	1,409	1,490	1,573	1,560	1,486	1,232
経費	1,763	1,763	1,878	1,998	1,973	2,028	1,892
減価償却費	359	405	403	389	522	503	796
医業収支	▲ 1,221	▲ 1,486	▲ 1,297	▲ 1,507	▲ 1,541	▲ 1,860	▲ 2,675
医業外収益	1,629	1,514	1,531	1,307	1,302	1,576	1,718
一般会計繰入金	1,496	1,439	1,428	1,212	1,166	1,230	1,367
医業外費用	164	84	73	96	49	84	197
経常収支	244	▲ 56	161	▲ 296	▲ 288	▲ 368	▲ 1,154
特別利益	1	0	2	9	3	324	1
特別損失	24	31	53	34	520	440	262
純損益	221	▲ 87	110	▲ 321	▲ 805	▲ 484	▲ 1,415

(2) 他の公立病院との比較（平成27年度決算ベース）

平成27年度決算（地方公営企業年鑑）に基づいて、青葉病院及び海浜病院の状況と「300床以上400床未満の公立病院平均（黒字・赤字・全体）」及び「政令市の公立病院平均」とを比較します。なお、参考として、関東の政令市病院（横浜市、さいたま市、川崎市）を掲載しています。

ア 医業収支に関連する指標の比較

医業収支比率をみると、青葉病院及び海浜病院は、300床以上400床未満の公立病院平均及び政令市の公立病院平均と比較しても、低い水準にあります。また、100床当たりの医業費用が、300床以上400床未満の公立病院及び政令市の公立病院と比較しても、高い水準にあります。

関連指標		青葉病院	海浜病院	300床以上400床未満			政令市平均	関東の政令市病院		
		380床	293床 (H27:287)	黒字病院	赤字病院	全体		横浜市民病院	さいたま市立病院	川崎病院
								650床	567床	713床
収益	医業収支比率	77.4%	78.6%	90.1%	81.7%	84.7%	82.9%	92.7%	95.2%	84.0%
	医業収益/100床(千円)	2,214,293	2,381,539	—	—	1,800,216	1,914,397	2,838,017	2,402,459	2,207,394
	入院収益/100床(千円)	1,597,561	1,703,159	—	—	1,199,615	1,347,817	2,029,503	1,827,300	1,583,687
	外来収益/100床(千円)	560,981	626,027	—	—	535,799	520,684	727,789	543,977	585,587
費用	医業費用/100床(千円)	2,860,752	3,029,645	—	—	2,125,748	2,308,880	3,060,469	2,522,674	2,628,819
	給与費/100床(千円)	1,396,430	1,611,468	—	—	1,028,723	1,009,207	1,439,830	1,229,256	1,106,649
	材料費/100床(千円)	615,814	517,730	—	—	486,599	542,619	813,485	605,810	553,669
	うち薬品費/100床(千円)	384,500	275,734	—	—	244,537	277,487	—	—	—
	うち診療材料費/100床(千円)	229,457	238,964	—	—	231,956	257,339	—	—	—
	経費/100床(千円)	574,391	706,554	—	—	435,723	549,157	660,685	595,773	806,139
	委託費/100床(千円)	383,305	407,150	—	—	207,217	260,459	—	—	—

※平成27年度地方公営企業年鑑に基づいて作成（税込、医業収益から繰入金を除いた形に修正した。）

イ 医業費用に関連する指標の比較

青葉病院及び海浜病院は、医業収益に占める給与費及び委託費の割合が、300床以上400床未満の公立病院平均及び政令市の公立病院平均と比較しても高い水準にあります。

関連指標		青葉病院	海浜病院	300床以上400床未満			政令市平均	関東の政令市病院		
		380床	293床 (H27:287)	黒字病院	赤字病院	全体		横浜市民病院	さいたま市立病院	川崎病院
								650床	567床	713床
	給与費比率	63.1%	67.7%	55.1%	58.4%	57.1%	52.7%	51.2%	50.7%	50.1%
材料費比率	材料費比率	27.8%	21.7%	26.4%	27.4%	27.0%	28.3%	25.2%	28.7%	25.1%
	うち薬品費比率	17.4%	11.6%	12.8%	14.1%	13.6%	14.5%	—	—	—
	うち診療材料費等比率	10.4%	10.0%	13.0%	12.8%	12.9%	13.4%	—	—	—
経費比率	経費比率	25.9%	29.7%	21.0%	26.2%	24.2%	28.7%	24.8%	23.3%	36.5%
	うち委託比率	17.3%	17.1%	10.6%	12.0%	11.5%	13.4%	—	—	—

※平成27年度 地方公営企業年鑑に基づいて作成（税込、医業収益から繰入金を除いた形に修正した。）

100床あたりの職員数をみると、青葉病院及び海浜病院は、医師、看護部門、薬剤部門、放射線部門、臨床検査部門が、300床以上400床未満の公立病院平均及び政令市の公立病院平均と比較すると、人数が多い状況です。なお、平均給与月額も、全国平均と比較すると特段高い水準ではありません。

関連指標		青葉病院	海浜病院	300床以上400床未満			政令市平均	関東の政令市病院		
		380床	293床 (H27:287)	黒字病院	赤字病院	全体		横浜市民病院	さいたま市立病院	川崎病院
								650床	567床	713床
	病床100床当たり職員数(人)	140.8	172.5	141.2	128.0	132.6	125.8	156.2	145.7	132.7
内訳	(1) 医師	19.5	22.6	16.0	14.6	15.1	17.3	20.3	23.5	18.2
	(2) 看護部門	85.8	110.5	78.6	71.8	74.1	73.0	99.4	95.2	89.1
	(3) 薬剤部門	4.7	5.9	4.2	3.8	4.0	3.8	5.4	4.4	3.6
	(4) 事務部門	12.1	12.9	13.7	11.4	12.2	9.1	10.9	8.6	7.1
	(5) 給食部門	1.3	2.1	2.4	2.2	2.3	1.2	1.1	0.9	1.6
	(6) 放射線部門	4.7	5.2	3.9	3.8	3.8	3.8	5.5	4.2	4.3
	(7) 臨床検査部門	5.3	7.0	5.3	4.7	4.9	4.7	6.0	4.8	5.1
	(8) その他部門	7.4	6.3	10.4	9.0	9.5	8.8	7.5	4.1	3.7

※平成27年度 地方公営企業年鑑に基づいて作成（育児休業中の職員を除く。）

区分	平均給与月額(円)			平均年齢(歳)		
	青葉	海浜	全国平均	青葉	海浜	全国平均
医師	1,347,403	1,227,090	1,401,010	43.8	44.5	44.5
看護師	479,102	461,609	468,129	36.2	37.2	38.7
事務職	492,177	499,034	517,270	39.3	41.6	43.2
医療技術員	492,884	516,473	479,755	35.0	37.5	39.5
全職員	601,765	575,572	579,988	37.3	38.7	40.2

関東の政令市病院					
横浜市民病院		さいたま市立病院		川崎病院	
650床		567床		713床	
平均給与月額	平均年齢	平均給与月額	平均年齢	平均給与月額	平均年齢
1,311,096	49.3	1,680,496	45.0	1,362,797	42.3
511,773	39.8	517,184	35.6	487,873	35.8
707,118	62.5	659,693	39.1	608,710	43.8
609,342	45.4	619,616	38.7	487,152	37.4
644,516	43.6	684,932	37.7	629,005	37.5

※平成27年度 病院経営分析比較表に基づき作成

ウ 医業収益に関連する指標の比較

300床以上400床未満の公立病院平均及び政令市平均と比較すると、両病院ともに、これらの病院よりも入院診療単価は上回り、平均在院日数も短いです。病床利用率をみると、青葉病院は政令市平均並みですが、海浜病院は300床以上400床未満の公立病院平均及び政令市平均を下回っています。また、医師一人1日当たりの医業収益をみると、青葉病院及び海浜病院は、これらの病院の平均よりも低い水準にあります。

関連指標		青葉病院	海浜病院	300床以上400床未満 平均			政令市平均	関東の政令市病院		
		380床	293床 (H27:287)	黒字病院	赤字病院	全体		横浜市民病院 650床	さいたま市立病院 567床	川崎病院 713床
入院	1日平均患者数(人)	290	200	251	228	236	327	553	455	527
	病床利用率(%) 一般	79.1	69.7	77.2	70.5	72.9	78.0	88.6	83.4	76.1
	病床利用率(%) 精神	68.9	—	63.6	51.4	52.3	54.0	—	—	59.1
	病床利用率(%) 感染	5.9	—	0.2	0.4	0.3	0.8	—	—	—
	病床利用率(%) 合計	76.3	69.7	75.5	68.4	70.8	76.4	85.1	80.2	73.9
	平均在院日数(日)一般	11.6	8.8	14.3	14.1	14.2	16.2	11.7	12.3	12.5
入院診療単価(円)		57,214	66,785	49,361	45,066	46,623	48,039	65,196	62,280	58,564
外来	1日平均患者数(人)	840	405	584	607	599	731	1,356	980	1,448
	外来診療単価(円)	10,436	12,123	13,099	11,688	12,156	12,108	14,361	12,957	11,867
医師1人1日当たり医業収益(円)		263,763	268,510	330,714	292,732	305,928	284,718	373,804	257,501	197,484

※平成27年度 地方公営企業年鑑に基づいて作成(税抜)

エ 小括

300床以上400床未満の公立病院平均や政令市の公立病院平均と比較すると、両市立病院は、100床あたりの医業費用(特に給与費及び委託費)が高い水準にあります。かかる医業費用に見合った医業収益を確保していないことから、医業収益に占める給与費や委託費の割合が高くなり、結果として、医業収支比率もこれらの病院の平均に比べて低くなっています(青葉:77.4%、海浜:78.6%、300~400床:84.7%、政令市:82.9%)。

100床あたりの給与費が300床以上400床未満の公立病院平均や政令市の公立病院平均と比べて高い要因は、全国平均と比較しても給与月額は特段高くないことから、100床あたりの職員数(医師、看護部門、薬剤部門、放射線部門、臨床検査部門)が、これらの病院よりも多いことによるものと考えられます。

医業収益に関連する指標をみると、入院診療単価はこれらの病院を上回っていますが、病床利用率は、青葉病院では政令市平均並みであり、海浜病院は300床以上400床未満の公立病院平均や政令市の公立病院平均を下回っています(青葉:76.3%、海浜:69.7%、300~400床全体:70.8%、政令市:76.4%)。両市立病院がこれらの病院以上に医業費用が高い現状を踏まえると、病床利用率のさらなる向上が課題であり、そのためには、新規入院患者数を増加させる必要があります。また、医業収益の柱である医師一人1日当たりの医業収益をみると、提供する医療内容等の違い等によるところもありますが、両市立病院は、300床以上400床未満の公立病院平均や政令市の公立病院平均よりも低い水準にあります。

(3) 第3期プラン（平成27～29年度）の進捗状況

ア 医業収支の状況

病院事業全体の医業収支をみると、平成27年度、平成28年度、平成29年度見込と、年々、医業収支が悪化し、平成29年度は過去最大の赤字となる見込みです。第3期プランの最終年度である平成29年度の計画値と見込との差をみると、医業収支比率で▲19.4ポイント（H29計画値92.0%、H29見込72.6%）、医業収支で▲3,805百万円（H29計画値▲1,843百万円、H29見込▲5,648百万円）となり、目標と実績との間に大幅な乖離が生じました。医業費用の計画値と見込との差をみると計画値よりも低くなった（▲2,572百万円）ものの、医業収益の要である入院収益と計画値と見込と差は▲5,180百万円（H29計画値15,759百万円、H29見込10,579百万円）となり、大幅な乖離が生じました。

その結果、累積欠損金は拡大し、平成27年度において、初めて内部留保資金残高（補てん財源）が不足し、平成28年度より不足がさらに拡大しました。

病院事業会計全体

(単位：百万円、税込)

年度	プラン（第3期）								
	H27			H28			H29		
	計画	実績	差	計画	実績	差	計画	見込	差
医業収益	17,523	15,249	▲ 2,274	19,408	14,717	▲ 4,691	21,327	14,950	▲ 6,377
入院収益	12,892	10,961	▲ 1,931	14,356	10,457	▲ 3,899	15,759	10,579	▲ 5,180
外来収益	4,296	3,929	▲ 367	4,703	3,922	▲ 781	5,215	4,026	▲ 1,189
医業費用	20,510	19,566	▲ 944	21,972	20,088	▲ 1,884	23,170	20,598	▲ 2,572
職員給与費	10,082	9,931	▲ 151	10,707	10,350	▲ 357	11,528	10,681	▲ 847
材料費	4,051	3,826	▲ 225	4,321	3,628	▲ 693	4,710	3,805	▲ 905
経費	4,711	4,211	▲ 500	4,858	4,015	▲ 843	4,799	3,954	▲ 845
減価償却費	1,504	1,464	▲ 40	1,925	1,989	64	1,971	2,047	76
医業収支	▲ 2,987	▲ 4,317	▲ 1,330	▲ 2,564	▲ 5,371	▲ 2,807	▲ 1,843	▲ 5,648	▲ 3,805
医業外収益	3,798	4,434	636	3,686	4,376	690	3,020	5,456	2,436
一般会計繰入金	3,513	3,426	▲ 87	3,401	3,333	▲ 68	2,734	4,097	1,363
医業外費用	563	610	47	561	623	62	556	447	▲ 109
経常収支	248	▲ 493	▲ 741	561	▲ 1,618	▲ 2,179	621	▲ 639	▲ 1,260
特別利益	1	850	849	1	8	7	1	2	1
特別損失	522	714	192	562	503	▲ 59	622	571	▲ 51
純損益	▲ 274	▲ 357	▲ 83	0	▲ 2,113	▲ 2,113	0	▲ 1,208	▲ 1,208
医業収支比率	85.4%	77.9%	▲ 7.5%	88.3%	73.3%	▲ 15.0%	92.0%	72.6%	▲ 19.4%
経常収支比率	101.2%	97.6%	▲ 3.6%	102.5%	92.2%	▲ 10.3%	102.6%	97.0%	▲ 5.6%
累積欠損金（税抜）		▲ 4,817			▲ 6,933			▲ 8,144	
内部留保資金残高 （当年度末補てん財源）		▲ 177			▲ 1,912			▲ 1,912	

青葉病院

(単位：百万円、税込)

年度	プラン（第3期）								
	H27			H28			H29		
	計画	実績	差	計画	実績	差	計画	見込	差
収益									
医業収益	9,145	8,414	▲ 731	10,140	8,567	▲ 1,573	11,397	8,625	▲ 2,772
入院収益	6,594	6,073	▲ 521	7,320	6,149	▲ 1,171	8,220	6,126	▲ 2,094
外来収益	2,374	2,132	▲ 242	2,632	2,217	▲ 415	2,984	2,299	▲ 685
医業費用	11,216	10,871	▲ 345	11,805	11,263	▲ 542	12,583	11,591	▲ 992
職員給与費	5,372	5,306	▲ 66	5,644	5,489	▲ 155	6,114	5,799	▲ 315
材料費	2,341	2,340	▲ 1	2,464	2,396	▲ 68	2,746	2,519	▲ 227
経費	2,457	2,183	▲ 274	2,330	2,123	▲ 207	2,260	1,972	▲ 288
減価償却費	963	961	▲ 2	1,284	1,193	▲ 91	1,380	1,238	▲ 142
医業収支	▲ 2,071	▲ 2,457	▲ 386	▲ 1,665	▲ 2,696	▲ 1,031	▲ 1,186	▲ 2,966	▲ 1,780
医業外収益	2,420	2,858	438	2,406	2,658	252	1,957	3,253	1,296
一般会計繰入金	2,296	2,196	▲ 100	2,282	1,966	▲ 316	1,834	2,486	652
医業外費用	489	526	37	489	426	▲ 63	489	383	▲ 106
経常収支	▲ 141	▲ 125	16	253	▲ 464	▲ 717	283	▲ 96	▲ 379
特別利益	1	526	525	1	7	6	1	1	0
特別損失	233	274	41	253	241	▲ 12	283	276	▲ 7
純損益	▲ 373	127	500	0	▲ 698	▲ 698	0	▲ 371	▲ 371
医業収支比率	81.5%	77.4%	▲ 4.1%	85.9%	76.1%	▲ 9.8%	90.6%	74.4%	▲ 16.2%
経常収支比率	98.8%	98.9%	0.1%	102.1%	96.0%	▲ 6.1%	102.2%	99.2%	▲ 3.0%
累積欠損金（税抜）		▲ 2,910			▲ 3,607			▲ 3,979	

海浜病院

(単位：百万円、税込)

年度	プラン（第3期）								
	H27			H28			H29		
	計画	実績	差	計画	実績	差	計画	見込	差
収益									
医業収益	8,379	6,835	▲ 1,544	9,268	6,150	▲ 3,118	9,931	6,325	▲ 3,606
入院収益	6,298	4,888	▲ 1,410	7,037	4,308	▲ 2,729	7,539	4,453	▲ 3,086
外来収益	1,923	1,797	▲ 126	2,072	1,705	▲ 367	2,231	1,727	▲ 504
医業費用	9,295	8,695	▲ 600	10,168	8,825	▲ 1,343	10,587	9,007	▲ 1,580
職員給与費	4,710	4,625	▲ 85	5,063	4,861	▲ 202	5,415	4,882	▲ 533
材料費	1,710	1,486	▲ 224	1,857	1,232	▲ 625	1,964	1,286	▲ 678
経費	2,255	2,028	▲ 227	2,528	1,892	▲ 636	2,539	1,982	▲ 557
減価償却費	541	503	▲ 38	641	796	155	592	809	217
医業収支	▲ 916	▲ 1,860	▲ 944	▲ 900	▲ 2,675	▲ 1,775	▲ 656	▲ 2,682	▲ 2,026
医業外収益	1,379	1,576	197	1,281	1,718	437	1,063	2,203	1,140
一般会計繰入金	1,217	1,230	13	1,119	1,367	248	901	1,611	710
医業外費用	75	84	9	73	197	124	68	64	▲ 4
経常収支	388	▲ 368	▲ 756	309	▲ 1,154	▲ 1,463	339	▲ 543	▲ 882
特別利益	1	324	323	1	1	0	1	1	0
特別損失	289	440	151	309	262	▲ 47	339	295	▲ 44
純損益	100	▲ 484	▲ 584	0	▲ 1,415	▲ 1,415	0	▲ 837	▲ 837
医業収支比率	90.1%	78.6%	▲ 11.5%	91.2%	69.7%	▲ 21.5%	93.8%	70.2%	▲ 23.6%
経常収支比率	104.1%	95.8%	▲ 8.3%	103.0%	87.2%	▲ 15.8%	103.2%	94.0%	▲ 9.2%
累積欠損金（税抜）		▲ 1,907			▲ 3,326			▲ 4,165	

イ 主要指標の状況

病院事業全体の主要指標をみると、平成29年度の計画値と見込みとの差を比較した場合、入院患者数（▲39,090人）、病床利用率（▲16.3%）、新規入院患者数（▲6,988人）、入院診療単価（▲13,154円）、平均在院日数（+1.1日）、外来患者数（▲41,522人）、外来診療単価（▲859円）となり、全ての指標が計画値を達成できませんでした。特に、病床利用率及び入院患者数並びに入院診療単価が計画値を大きく下回ったことが、入院収益に影響を与えました。

年度	プラン（第3期）								
	H27			H28			H29		
	計画	実績	差	計画	実績	差	計画	見込	差
入院患者数	199,259人	179,331人	▲19,928人	206,178人	171,857人	▲34,321人	214,318人	175,228人	▲39,090人
病床利用率 ※	81.6%	73.5%	▲8.1%	84.7%	70.6%	▲14.1%	88.0%	71.7%	▲16.3%
新規入院患者数	17,201人	14,899人	▲2,302人	19,333人	14,622人	▲4,711人	21,472人	14,484人	▲6,988人
入院診療単価	64,695円	61,122円	▲3,573円	69,628円	60,845円	▲8,783円	73,527円	60,373円	▲13,154円
平均在院日数	11.6日	11.1日	▲0.5日	10.7日	10.8日	0.1日	10.0日	11.1日	1.1日
外来患者数	355,113人	352,301人	▲2,812人	368,289人	342,700人	▲25,589人	389,817人	348,295人	▲41,522人
外来診療単価	11,053円	11,151円	98円	11,754円	11,445円	▲309円	12,418円	11,559円	▲859円

病院事業全体

年度	プラン（第3期）								
	H27			H28			H29		
	計画	実績	差	計画	実績	差	計画	見込	差
職員給与費対医業収益比率	57.5%	65.1%	7.6%	55.2%	70.3%	15.1%	54.1%	71.4%	17.3%
材料費対医業収益比率	23.1%	25.1%	2.0%	22.3%	24.7%	2.4%	22.1%	25.5%	3.4%
経費対医業収益比率	26.9%	27.6%	0.7%	25.0%	27.3%	2.3%	22.5%	26.4%	3.9%

青葉病院

年度	プラン（第3期）								
	H27			H28			H29		
	計画	実績	差	計画	実績	差	計画	見込	差
入院患者数	110,595人	106,141人	▲4,454人	113,718人	106,222人	▲7,496人	119,779人	106,592人	▲13,187人
病床利用率 ※	79.7%	76.3%	▲3.4%	82.0%	76.6%	▲5.4%	86.4%	76.9%	▲9.5%
新規入院患者数	8,991人	7,472人	▲1,519人	9,847人	7,503人	▲2,344人	11,070人	7,168人	▲3,902人
入院診療単価	59,580円	57,217円	▲2,363円	64,331円	57,892円	▲6,439円	68,588円	57,471円	▲11,117円
平均在院日数	12.3日	13.3日	1.0日	11.5日	13.2日	1.7日	10.8日	13.9日	3.1日
外来患者数	219,736人	204,150人	▲15,586人	226,733人	204,946人	▲21,787人	241,579人	210,184人	▲31,395人
外来診療単価	10,800円	10,442円	▲358円	11,604円	10,815円	▲789円	12,348円	10,938円	▲1,410円

※ 病床利用率は、同日退院患者数を含む。

青葉病院

年度	プラン（第3期）								
	H27			H28			H29		
	計画	実績	差	計画	実績	差	計画	見込	差
職員給与費対医業収益比率	58.7%	63.1%	4.4%	55.7%	64.1%	8.4%	53.6%	67.2%	13.6%
材料費対医業収益比率	25.6%	27.8%	2.2%	24.3%	28.0%	3.7%	24.1%	29.2%	5.1%
経費対医業収益比率	26.9%	25.9%	▲1.0%	23.0%	24.8%	1.8%	19.8%	22.9%	3.1%

海浜病院

年度	プラン（第3期）								
	H27			H28			H29		
	計画	実績	差	計画	実績	差	計画	見込	差
入院患者数	88,664人	73,190人	▲15,474人	92,460人	65,635人	▲26,825人	94,539人	68,636人	▲25,903人
病床利用率 ※	84.6%	69.7%	▲14.9%	88.3%	62.7%	▲25.6%	90.2%	64.8%	▲25.4%
新規入院患者数	8,210人	7,427人	▲783人	9,487人	7,119人	▲2,368人	10,402人	7,316人	▲3,086人
入院診療単価	71,030円	66,786円	▲4,244円	76,100円	65,641円	▲10,459円	79,744円	64,878円	▲14,866円
平均在院日数	10.8日	8.8日	▲2.0日	9.7日	8.2日	▲1.5日	9.1日	8.4日	▲0.7日
外来患者数	135,377人	148,151人	12,774人	141,556人	137,754人	▲3,802人	148,238人	138,111人	▲10,127人
外来診療単価	11,382円	12,127円	745円	11,949円	12,374円	425円	12,512円	12,504円	▲8円

※ 病床利用率は、同日退院患者数を含む。

年度	プラン（第3期）								
	H27			H28			H29		
	計画	実績	差	計画	実績	差	計画	見込	差
職員給与費対医業収益比率	56.2%	67.7%	11.5%	54.6%	79.0%	24.4%	54.5%	77.2%	22.7%
材料費対医業収益比率	20.4%	21.7%	1.3%	20.0%	20.0%	0.0%	19.8%	20.3%	0.5%
経費対医業収益比率	26.9%	29.7%	2.8%	27.3%	30.8%	3.5%	25.6%	31.3%	5.7%

ウ 小括

①第3期プランの目標設定

第3期プランは第2期プランの方向性を踏襲し、医療スタッフの増員を進めることにより医療の質を向上させ、医業収益を拡大して収支の改善を図ろうとしました。また、主要な指標についても、医業収益の目標を達成するため、計画期間中の3年間で平均在院日数を短縮し、新規入院患者を増加させ、病床利用率を大幅に向上させることを目標としていました。しかし、前述のとおり、これらの目標は全てが達成できず、特に病床利用率は、計画値と見込値との間に著しい乖離が生じました（病院事業全体：H29計画値88.0%、H29見込71.7%）。

このような乖離が生じた要因の一つとして、当初設定した医業収益及びそれらを達成するための主要指標の目標（計画値）が、3年間という短い期間で、あまりに大幅な改善効果を見込んでしまい、両市立病院の現状とはかけ離れた過大な目標設定となってしまったことが挙げられます。実績との乖離が年々大きくなることで、職員一人ひとりが、第3期プランに掲げた目標が「自らの目標」であるとする認識が薄れ、現実的な目標として機能しなくなっていったことも否定できません。また、医師の増員が計画どおりに進まず、青葉病院の脳神経外科や海浜病院の呼吸器外科など診療科の整備が進まなかった一方で、医療の質の向上等を図るため医師以外の医療スタッフを増員したことで、給与費の増加に医業収益の伸びが追いつけず、固定費である職員給与費が医業収益の7割を占める（病院事業全体：H29見込 職員給与費対医業収益比率71.4%）という苦しい収支構造を生み出してしまいました。

そこで、第4期プランにおいては、職員給与費を含む医業費用の伸びをできる限り抑制するとともに、医業収益に関しては、既存の人的資源を含む経営資源を最大限活用して収益の増加を図り、実現可能な目標を設定します。

②経営管理体制

第3期プランの目標を達成できなかった要因として、プランの目標や各取組みを推進する体制や、目標の進捗管理を含む経営管理体制が不十分であったことが挙げられます。

（詳細は次項「2 本市の課題」参照）。

③専門的知識を有する事務職・職員のインセンティブ

病院経営及び医事分野における専門的な知識を有する事務職が不足しており、経営改善に向けた舵取りがうまくいかなかったことや、プランの達成に向けた職員のモチベーションの向上・維持のインセンティブがないことも、第3期プランの目標を達成できなかった要因の一つとして考えられます（詳細は次項「2 本市の課題」参照）。

④海浜病院心臓血管外科の新規患者の受入停止の影響

平成27年に発生した海浜病院心臓血管外科の新規患者の受入停止の影響を受けて、医業収益が大幅に落ち込んだことも、第3期プランの目標を達成できなかった要因の一つとして考えられます（詳細は次項「2 本市の課題」参照）。

2 本市の課題

(1) 経営の健全化

ア 医業収支の改善

病院事業全体の医業収支は平成25年度より悪化に転じ、以降、赤字が拡大する状態が続いています。この医業収支の悪化に伴い、累積欠損金も拡大し続け、平成27年度以降内部留保資金残高（当年度末補てん財源）不足も拡大するなど、危機的な経営状況にあります。そこで、市民が必要とする医療を提供し続けるためにも、「経営の健全化」、すなわち「医業収支の改善」が最大の課題です。前述のとおり、両市立病院の医業収支比率は、300床以上400床未満の公立病院平均及び政令市の公立病院平均と比較しても低い水準にあり、第4期プランにおいて、医業収支の改善のために、さらなる努力を重ねていく必要があります。

イ 医業収益の増加

医業収益が悪化した要因に、医業費用に見合った医業収益を上げられていないことが挙げられます。そこで、医業収益の増加を図るためにも、両病院共通して病床利用率の向上が課題であり、そのためには新規入院患者数を増加させる必要があります。特に、海浜病院では心臓血管外科の新規患者の受入停止以降、病床利用率（新規入院患者数）が落ち込んだため、それを以前の水準に近づける必要があります。

そこで、第4期プランでは、青葉病院では現在の医療機能を継続していくとともに、海浜病院では小児医療及び周産期医療の強化により現在の強みを活かしつつ、外科系診療科の整備等により、総合的診療基盤の整備を図ります（「市民から求められる医療」の提供）。さらに、「地域医療連携の強化」及び「ホームページ等の広報充実」等の取組みにより、地域の医療機関及び市民（患者）に市立病院をアピールし、新規入院患者の増加を図ります。また、「診療報酬の確保」等により入院診療単価の向上に努めます。

ウ 医業費用の削減

職員給与費や経費（特に委託費）の医業収益に対する比率が300床以上400床未満の公立病院平均及び政令市の公立病院平均と比較しても高い状況にあり、収支を圧迫する大きな要因となっています。

そこで第4期プランでは、費用の削減を行うために、業務の効率化による時間外勤務手当の削減を通じた給与費の削減、委託料を中心に経費の削減を図るとともに、材料費の削減にも取り組みます。

エ 今後の経営改善の2つの方向性

(ア) 短期的な経営改善

第4期プランでは、平成30年から32年度までの短期的な経営改善の取組みを示しました。上記イ及びウで述べた医業収益の増加や医業費用の削減に関する課題について経営改善を進めます。そして、経営改善の実効性を担保するため、本プランの計画期間中に、専門的知識や実績を有する事業者に経営改善業務を委託し、プランの推進を図ります。

(イ) 長期的な経営改善

第6章（再編・ネットワーク化）及び第7章（経営形態）で述べますが、第4期プランの計画期間中に、今後の市立病院のあり方についての検討を開始します。市立病院が提供する医療内容や経営形態等、短期的な経営改善では解決されない課題について整理し、このあり方の過程で検討していきます。

(2) 経営管理体制の強化

これまでの取組みでは、プランを推進する体制や各部署への目標管理、組織間のコミュニケーションなどに課題があります。これらの課題が、第3期プランにおける収支目標を達成できなかった要因の一つとして考えられることから、経営改善に努めていく組織づくりに取り組む必要があります。

ア プランの推進体制の整備

プランの各取組みの達成に向けた責任の所在が曖昧であることや、他の業務で多忙のため、プランに掲げた取組みを行うことができる時間が十分でないことが課題です。

そこで第4期プランでは、取組項目ごとに、プラン推進責任者・担当者を選任するとともに、必要に応じて、局内横断的にワーキング・グループを組むなどして、推進体制の見直しを図ります。また、「業務の効率化」を図ることにより、プランの推進に向けた環境を整えます。さらに、第4期プランの計画期間中に、専門的知識や実績を有する事業者に経営改善業務を委託し、プランの推進を図ります。

イ 目標管理の徹底

プランに掲げた目標を「自らの目標」として、一人ひとりが認識し、職員一丸となってプラン達成に向けた取組みを推進していく体制が十分ではありませんでした。

そこで第4期プランでは、プランに掲げた目標を各部署に落とし込み、目標の設定から進捗管理の徹底を図ることで、職員が一丸となって目標達成のために、取組みを推進する体制を整えます。また、前述した経営改善支援の受託者事業者とともに、第4期プランのPDCAサイクルを適切にマネジメントしていきます。

ウ 組織間のコミュニケーションの促進

経営企画課・管理課の管理部門と両市立病院の現場との双方向のコミュニケーションが不十分であることにより、管理部門・現場の現状や問題点の把握が十分でなかったことが課題です。

そこで第4期プランでは、管理部門と現場との意見交換を十分に行い、必要に応じて局内横断的にワーキング・グループを編成して、プランの取組みを推進するなど、組織間のコミュニケーションの促進を図ります。

エ DPCデータ等の活用による「経営分析力の向上」

DPCデータ等の活用による「経営分析力の向上」が十分でなかったことが課題です。

そこで第4期プランでは、「業務の効率化」等により、DPCデータや診療報酬の内容について分析を行うことができる体制を整備し、「経営分析力の向上」を図ることで、医療の質の向上や経営改善につなげます。

(3) 人的資源管理の強化

また、病院事務職の専門性の向上やプラン達成に向けたインセンティブの付与などに課題を有しています。これらの課題も第3期プランにおける収支目標を達成できなかった要因の一つとして考えられることから、人材の確保・育成・評価・処遇を含め、職員のマンパワーを最大限に引き出す取組みを行う必要があります。

ア 人材の確保面

今後、新たな専門医制度により、医師の確保が困難となることが予想されることから、市立病院として「病院の果たすべき役割」を明確化し、病院の魅力を上げるとともに、対外的に情報発信を行うなど、必要な対応を行うことが求められます。

イ 病院事務職の専門性の向上

病院の事務職員については、市長部局との人事異動があることから、事務職員の異動がない民間病院とは異なり、専門性の蓄積がされにくいという自治体病院特有の事情があります。医療政策は、2年ごとに診療報酬改定があり、環境の変化への迅速な対応が求められ、DPC制度等の医療政策の内容は複雑化・高度化してきています。これらに対応するために、病院事務職の専門性の向上が必要となります。

ウ 組織目標達成に向けた職員のモチベーションの維持・向上

プランの組織目標を達成するには、職員のモチベーションの維持・向上が必要となります。そこで、徒労感を感じさせず、組織が期待する行動・努力を職員が自ら実践するよう促すため、その行動・努力を組織として適切に評価し、インセンティブを付与することの検討が求められます。

(4) 医療安全体制の充実

平成27年4月から6月までの間に多発した海浜病院心臓血管外科の死亡事案による新規患者の受入停止の影響を受けたことも、第3期プランにおける収支目標を達成できなかった要因の一つとして考えられます。同病院では、医療安全管理体制の検証や医療安全の向上に向けた取組みの強化を既に行っているところですが、局全体として、安全で安心できる医療の提供に努め、市民に信頼される病院を目指します。